

平成30年度 図書館市民紙上ワークショップ結果

意見提出期間	2019年2月1日(金)～2019年2月16日(土)
意見箱設置場所	市立図書館エントランスホールおよび関図書室カウンター
提出数	5件 (2月16日現在: 亀山市立図書館 3件 / 関図書室 2件)
テーマ	図書館と市民・地域の連携による活動の可能性について

テーマ「図書館と市民・地域の連携による活動の可能性について」

意見

- ・図書館は公的施設なので、本を貸すことに対してお金がとれないので、図書館のリサイクル本を無料でプレゼントする前にボランティア等が売って、そのお金で図書館に新しい本を一冊でも買えばいいと思います。
無料で渡していると、いらぬ本も持ち帰り、読んだらゴミに捨てたり、置きっぱなしにしてやはりゴミになる。
たとえ、10円でもお金を払えば、いらぬ本は買わないと思う。そして資源の有効活用につながると思います。
- ・閉館時間の見直し
高校生、大学生が学校帰りに自習できるような時間まで開館する(例えば21時頃まで)。それに合わせて、亀山市内の各方面に向かうバスの時間を見直す。(21時に閉館なら、21時10分ごろに図書館前を出発するような)。亀山市には、大手の塾が少なく、夜に勉強できるような場所がないので、駅前で勉強してバスで帰るシステムがあると、高齢化の進む保護者、家族の迎の負担が軽減され、祖父、祖母世代の免許返納にもつながる。
以上のことを実行すると、図書館職員やバスの運転手の負担が大きくなり、今の世の中では、いろいろと問題になりそうだが、交代制をうまく導入して、最小限の負担で最大限のサービスを提供していただきたい。亀山市には学ぶ志の高い学生が多くいるので、図書館内での学習が良いものであれば、以上のプランは限りなく市全体の発展につながるだろう。
- ・多目的室に視聴覚設備(オンラインによる遠隔講義システム)を導入してほしい。これにより、遠方の講師を依頼するときも旅費代などの負担も軽減できる。
- ・赤ちゃん向けの絵本、小さいサイズの絵本、大型絵本など、細かく本を分けすぎているのではないか。他館も参考にしながら、今後本の位置が分かりやすいよう配架の検討もしてほしい。
- ・マイタウン亀山の番組では、どこに新図書館が建てられるのか分かりづらかったが、駅前だと子どもの送迎の待ち時間などを考えると利用しやすくなる。関図書室は夕方5時までだが、新しい図書館は、もう少し長く開館してほしい。